

※参考資料

【低炭素社会に向けた12の方策】

(方策の背景)

「2050日本低炭素社会」シナリオチーム((独)国立環境研究所・京都大学・立命館大学・みずほ情報総研(株))は、2007年2月に「2050日本低炭素社会シナリオ:温室効果ガス70%削減可能性検討」報告書を作成。日本を対象に2050年に想定されるサービス需要を満足しながら、主要な温室効果ガスであるCO₂を1990年に比べて70%削減する、技術的なポテンシャルが存在することを明らかにした。

その分析結果をもとに、どの時期に、どのような手順で、どのような技術や社会システム変革を導入すればよいのか、それを支援する政策にはどのようなものがあるかを、整合性を持った方策としてまとめたものが、「低炭素社会に向けた12の方策」であり、対策モデルと組み合わせることでそれぞれの方策の削減効果を定量的に把握したものである。12の方策はモデル研究から得られた効果的削減が可能な分野を主な対象として、その分野で取りうる対策とそれを推進する政策を組み合わせ有識者の意見を加えて構成したもので、すべての方策を組み合わせることによって70%削減が可能となる。

	方策の名称	説明
01	民生分野 自然にやさしい快適な住まい	太陽光や自然風を取り込める地域に合った環境共生住宅へ
02	民生分野 「買う」から「賢く借りる」へ	「借りる」ことでムダをなくして、高性能な機械を利用しやすく
03	産業分野 地域の恵みを旬にいただく	育てた人の顔が見えるCO ₂ 排出量の少ない食・農スタイル
04	産業分野 森や木に包まれる暮らし	低層・中層住宅や公共施設へ「木」の活用を進める
05	産業分野 美しい未来を支える産業・ビジネス	企業のCO ₂ 排出量削減努力の「見える化」と社会全体のサポート
06	運輸分野 情報共有でスムーズなモノの流れ	SCM*1導入により不必要な生産を抑制し流通の効率化を図る
07	運輸分野 歩いて暮らせる街づくり	長期的な計画に基づいたコンパクトな街づくりで安全で快適な移動を実現
08	エネルギー転換分野 CO ₂ をできるだけ出さずに作った電気の供給	再生可能エネルギーなどCO ₂ を削減する電力供給システムに期待
09	エネルギー転換分野 太陽光・風力発電の強みを活かす	太陽や風の力を思う存分吸収して新たなエネルギーを生み出します
10	エネルギー転換分野 次世代エネルギー供給	クリーンな水素、多種多様なバイオマスエネルギーに着目
11	横断分野 いつでもどこでも「見える化」	住宅やオフィスにCO ₂ メーターを設置して、「CO ₂ ダイエットライフ」
12	横断分野 自分たちの手で低炭素化社会を実現	低炭素社会を設計する・実現させる・支える人づくり

*1 SCM(Supply Chain Management): 材料の供給者、製造者、卸売、小売、顧客を結ぶ供給連鎖管理